

研究・調査報告書

報告書番号	担当
574	独立行政法人酒類総合研究所
題名（原題／訳）	
Relationship Between Exhaled Carbon Monoxide Level and Lifestyles in the General Population 一般住民における呼気中一酸化炭素濃度とライフスタイルとの間の関連	
執筆者	
TSUYA Ryosuke, UMEDA Takashi, IWANE Kaori, MATSUZAKA Masashi, DANJO Kazuma, TAKAHASHI Ippei, NAKAJI Shigeyuki	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
体力・栄養・免疫学雑誌 Vol.21 No.1 Page.3-8 (2011)	
キーワード	
呼気中一酸化炭素濃度、ライフスタイル、飲酒	
要旨	
<p>ヒトにおいて、内因性の一酸化炭素はヘムオキシゲナーゼによってヘムが破壊されて生じる。ヘムオキシゲナーゼは酸化ストレスによって活性化され、一酸化炭素産生を促進するので一酸化炭素は酸化ストレスマーカーとして考えられている。今回、一般住民における呼気中一酸化炭素濃度と体格、飲酒や運動習慣といったライフスタイルとの間の関連を調べた。本研究の被験者は2005-2009年の岩木健康増進プロジェクトの健診を受けた1393名（20-86歳、男性401名、女性992名）である。ボディマス指数（BMI）、喫煙習慣、運動習慣、1日当たりの飲酒量を調べ、これらと体格、性差、年齢差と呼気中一酸化炭素濃度との相関を調べた。呼気中一酸化炭素濃度はガスクロマトグラフィーで測定した。この結果、呼気中一酸化炭素濃度は体格、年齢、運動習慣、飲酒習慣とは関連がなかったが、喫煙習慣とは関連が見られた。</p>	